

都市再生整備計画

こんごうちく
金剛地区(2期)

おおさかふ とんだばやしし おおさかさやまし
大阪府 富田林市 大阪狭山市

令和8年3月

事業名	確認
都市構造再編集集中支援事業	<input type="checkbox"/>
都市再生整備計画事業(社会資本整備総合交付金)	<input type="checkbox"/>
都市再生整備計画事業(防災・安全交付金)	<input type="checkbox"/>
まちなかウォークアブル推進事業	<input checked="" type="checkbox"/>

都市再生整備計画の目標及び計画期間

様式(1)-②

都道府県名	大阪府	市町村名	とんだばやし 富田林市	おおさきやまし 大阪狭山市	地区名	こんごうちく 金剛地区(2期)	面積	約19.4 ha
計画期間	令和 8 年度	～	令和 13 年度	交付期間	令和 8 年度	～	令和 12 年度	

<p>目標</p> <p>■面的ニュータウン再生に向けた取組(金剛地区施設等再整備基本構想の実現)</p> <p>①「金剛駅周辺まちなかウォークビジョン」に基づき、車中心から“人中心”の空間への転換をめざし、お気に入りの場所とそこで過ごす楽しい時間、新たな出会いと交流など、金剛地区に「目的地」が増え、多様なアクティビティ(行動・活動)がまちなかにあふれることで、暮らしの豊かさと楽しさを+(プラス)できるまちをめざします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・+1が生まれる居心地の良い目的地をつくる ・歩き・滞在したくなるネットワークをつくる ・+1があふれる・つながる仕組みをつくる <p>②金剛駅を中心とした「集まる魅力、広がる賑わい 大阪南部の生活・交流・交通拠点」(まちの将来イメージの実現)【南海電気鉄道、大阪狭山市、富田林市】</p> <p>南海電気鉄道、大阪狭山市及び富田林市の3者が連携し、公共交通ネットワークの利便性向上とともに、都市機能の更新や誘導によって、当エリアが魅力的且つ生活する上で必要な場所となることで、通勤や通学目的での利用もさることながら、当エリアでの滞留を目的として訪れた人びとがそれぞれの時間を過ごすことによって創出されたにぎわいや交流が、当エリアを中心として広がることで、人びとから「住みたい」「訪れたい」と思われる地域になることをめざします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちの核としての魅力ある駅前空間づくり ・広域公共交通ネットワーク拠点としての機能の充実 ・良好な駅まち空間を維持継続する取組の推進
--

<p>目標設定の根拠</p> <p>まちづくりの経緯及び現況</p> <p>金剛地区(高辺台、久野喜台、寺池台)は、昭和40(1965)年代に日本住宅公団(現独立行政法人都市再生機構(UR都市機構))により開発され、多くの人口を受け入れるとともに、都心部への良好なアクセス、充実した都市基盤と良好な住環境を備え、本市の西の玄関口として成熟してきました。しかしながら、開発後、半世紀以上が経過し、金剛地区は令和7(2025)年において、高齢化率は37.1%、年少人口比率は10.1%と少子高齢化の進行、開発当時につくられた道路や上下水道等のライフライン、さらには住宅施設等の老朽化、金剛地区のコミュニティの希薄化(市民アンケート「住民による交流が活発だと感じる市民の割合」調査結果では市内平均37%に対し、金剛地区住民は27%)、いわゆるニュータウン問題が顕在化しています。</p> <p>平成29(2017)年3月に地区住民、学識経験者、大阪府、独立行政法人都市再生機構(UR都市機構)、南海電気鉄道㈱等が参画し、金剛地区のまちの将来像、将来像の実現に向けた取組を示す「金剛地区再生指針」を策定しました。持続可能な都市形成に向けて、地域住民や関係団体等との連携によるソフト的な取組(地区住民で構成されるまちづくり会議による月1マルシェのイベントの実施、空き店舗を活用したコミュニティカフェの開設、公園の魅力化等)の充実を進めるとともに、「金剛地区再生指針推進協議会(地区住民、学識経験者、大阪府、独立行政法人都市再生機構(UR都市機構)、南海電気鉄道㈱)により構成)より、同指針の進捗管理や専門領域の助言等をいただきながら地区の活性化を進めています。</p> <p>令和4(2022)年3月には、中長期的な視点で早期の改善や魅力向上が求められる施設・エリア(金剛中央公園、金剛銀座街商店街、南海金剛駅周辺等)の再整備に向けた「金剛地区施設等再整備基本構想」を策定しました。</p> <p>令和6(2024)年3月には、ニュータウン再生の拠点施設整備として金剛中央公園の再整備をリーディング・プロジェクトに位置付け、対象施設における詳細機能、規模、概算事業費、整備手法等を整理する「金剛中央公園・多機能複合施設等整備基本計画」を策定しました(富田林版「こどもまんなか社会」の実現)。</p> <p>令和7(2025)年3月には、金剛駅周辺において、回遊性・滞留性の向上や交流機会の創出、賑わいづくり、住民主体の多様な取組等を創出に向け、車中心からヒト中心の空間への転換をめざし、道路・公園等の公共空間を誰もが居心地が良く歩きたくなるウォークアブルなまちづくりを進めるため、民間企業や住民等のステークホルダーの参画により、将来のめざすべき姿やその実現に向けたプロセスと方策を示す「金剛駅周辺まちなかウォークビジョン」を策定しました。また、官民連携によるウォークアブルな空間づくりに向けた取組として、独立行政法人都市再生機構(UR都市機構)により、ピュア金剛跡をふれあい大通り一体的な空間として広場整備する「一体型滞在快適性等向上事業」を進めています。</p> <p>また、金剛駅を中心として今後のまちづくりの方向性について、南海電鉄、大阪狭山市及び富田林市のそれぞれにおいて、重要な位置付けとなっている駅であることから、当エリアの魅力・価値向上に向けたまちづくりの推進にあっては、当エリアの課題や将来イメージを共有しながら、駅前商業施設をはじめとする都市機能の更新・誘導を含めた駅まち空間を三者一体となったまちづくりを検討するため、その基礎資料として「金剛駅を中心としたまちづくり検討調査報告書」を整理しました。</p>

<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金剛地区は令和7(2025)年において、高齢化率は37.1%、年少人口比率は10.1%と大阪府下よりも少子高齢化が進行しているとともに、富田林市全体の平均よりもその傾向が強く、喫緊の課題である。 ・南海金剛駅から金剛銀座街商店街(ピュア金剛跡)を経由し、金剛中央公園までの約520mの「ふれあい大通り」は、駅前大通りにも関わらず通勤・通学時間帯以外は殆ど歩行者がいない。 ・金剛銀座街商店街は、ピュア金剛が平成25年(2013)年5月に退去後、かつての賑わいや交流が失われつつある。 ・金剛中央公園(都市機能(商業、医療、教育、行政等)が集積する地区の中心エリア)は、地区住民の憩いの空間にも関わらず利用率が低い。(地区住民アンケート調査結果では67.5%の方が利用したことがないとの結果) ・久野喜台1号公園(特急停車駅である南海金剛駅前の一等地)は地区住民の憩いの空間にも関わらず利用率が低い。(地区住民アンケート調査結果では79.9%の方が利用したことがないとの結果)

将来ビジョン(中長期)

■富田林市

【富田林市総合ビジョンおよび総合基本計画】
目標期間 平成29(2017)年～令和8(2026)年

快適な都市空間づくりに向けて、地域の実情に応じた地域再生・活性化を図るにあたり、次の2つを掲げています。 P122～123

1. 市民や関係団体、事業者等によるまちづくりを担う組織の設置や活動拠点づくりを進め、地区住民がいきいきと学び、遊び、働き、地域活動などに取り組むことができるまちをめざします。
2. 広域幹線道路や駅周辺がもつポテンシャルを活かしたまちづくりを検討し、地域活性化につなげます。

【金剛地区再生指針】

- ・「ふれあい大通り」を多彩な活動の場となる“まちの顔”として育む【短期・中長期】
- ・金剛駅前から金剛中央公園間の「ふれあい大通り」は、“まちの顔”としての美しさ、風格を保つとともに、通り沿いは、豊かな時が過ぎて交流が生まれる広場や施設がつながる通りとし、人々の「煌き」と「閑静な趣」を持った、金剛地区を象徴する空間に育てます。
- ・既存の文化・運動施設の再整備や使い方を検討する【中長期】
- ・住民の多様な活動ニーズに対応するため、老朽化した施設の再生に取り組みます。
- ・イベントや住民参加プログラムが行われる交流拠点として育む【短期・中長期】
- ・多世代が交流する拠点としての機能強化を図ります。

【金剛地区施設等再整備構想】

- ・多くの人々が行き交う、人中心のウォーカブルな空間づくりを行い、安全・安心な空間、人と人の新たなつながり、社会的交流、まちなかの賑わい等が創出される施設等再整備をめざします。
- ・ふれあい大通りについては、ウォーカブルな空間形成に向けた社会実験等を通じて、様々な可能性を検討します。
- ・老朽化した既存施設については、若者・子育て世代の定住を促進するための子育て支援機能、高齢者等の健康で安心できる暮らしの確保や近年の健康志向の高まりに対応するための健康増進機能、さらに、地区内外の多様な人々の交流を実現する交流機能を開発した、地区のシンボルとなる魅力的な多機能施設へと再編します。また、住民の憩いの場である公園空間については、地区住民等が主体となったプログラム・イベントの実施や個々のニーズに応じた多様な使いこなしを可能とする空間づくりを行い、多機能施設と連携した、豊かで多機能な公園空間へと再編します。

【富田林市立地適正化計画】

1. 居住誘導区域内の移動環境の整備
金剛地区については、人中心のウォーカブルな空間づくりを行い、安全・安心な空間、まちなかの賑わい等の創出を目指します。
2. 誘導施設の設定(子育て関連施設・交流複合施設を誘導します。)
子育て支援機能、健康増進機能、交流機能を備えた市が設定する多機能施設を誘導します。

【金剛中央公園・多機能複合施設等整備基本計画】

金剛中央公園の再整備については、金剛地区における都市空間再編のリーディング・プロジェクトとして、富田林版「こどもんなか社会」の実現やニュータウン問題の課題解決につながる整備をめざします。

(基本方針)

『こどもたちの笑顔があふれ、みんなで豊かさを育むサードプレイス』

- ・こどもの成長と子育てをささえる場
- ・こどもは、これからの社会を拓き・築く「わたしたちの未来」であり、その心身の健やかな成長や自立を社会全体で支えていくことが重要です。また、金剛地区が抱える人口減少や少子高齢化の課題に対応していくためにも、若い世代が安心してこどもを産み育てることができる環境を整備し、子育て・定住の場として選ばれるよう、金剛地区の魅力を高めていくことが必要です。
- ・このようなことから、将来を担うすべてのこどもを中心に位置付け、こども・子育て支援の場として金剛中央公園・多機能複合施設を整備し、こどもたちの笑顔があふれる将来をめざします。

・みんなで豊かさを育む場

金剛地区においては、再生指針に基づき、「一人ひとりが煌き続けられるまち」をめざしています。そのためにも、地区住民が、いつまでも元気で暮らすことができる環境や、多様な交流、自己実現が可能となる環境を整備し、地区住民が自分らしくいきいきと暮らし、自らの夢や想いを実現させ、住み慣れた地域で豊かな時間を過ごし、暮らし続けることができる。金剛地区の魅力を高めていくことが必要です。このようなことから、地区住民のサードプレイスとして金剛中央公園・多機能複合施設を整備し、みんなで豊かさを育む将来をめざします。

【金剛駅周辺まちなかウォーカブルビジョン】

ウォーカブルなまちづくりの推進により、「住む」以外の機能が身近にあることで暮らしの豊かさや楽しさを感じることができ、住みたい・住み続けたいと思えるまちとなることをめざします。

- ・+1が生まれる居心地の良い目的地をつくる
- ・歩き・滞在したくなるネットワークをつくる
- ・+1があふれる・つながる仕組みをつくる

■大阪狭山市

【大阪狭山市魅力ある都市空間ビジョン～都市計画マスタープラン～】(令和4(2022)年3月)

- ・交通結節点であり商業機能等が集積している金剛駅周辺を大阪狭山市の中心市街地拠点として設定します。
- ・駅東側の富田林市との連携も踏まえながら、多様な来街目的を有するエリアとして、公共公益機能、商業機能、サービス機能、都市型の居住機能等、多様な都市機能が集積するとともに、大阪狭山市の玄関口にふさわしい都市デザインや景観により、にぎわいがあり、居心地がよく歩きたくなるまちなかの実現をめざします。

【大阪狭山市立地適正化計画 魅力ある都市空間ビジョン～まちのリメイク編～】(令和7(2025)年4月)

- ・金剛駅周辺においては、市内居住者だけでなく多様な来街者をターゲットとして、公共公益機能、商業機能、サービス機能、都市型の居住機能等、多様な都市機能が集積する大阪狭山市の玄関口かつ大阪南部の拠点としての空間価値の維持・向上をめざし、都市機能誘導区域の設定や誘導施設を位置づけ、中心市街地エリアとしての空間形成を図ります。
- ・当エリアを中心に、複数の大規模ニュータウン(狭山ニュータウン、泉北ニュータウン、金剛ニュータウン)が連担する特徴を活かし、堺市、富田林市、公共交通事業者をはじめとする関係団体等と連携した取り組みの展開やノウハウの共有等を進め、広域エリアの核となる多様な都市機能の導入、交通結節点としての機能・空間価値の向上、広域公共交通ネットワークの強化等を促進し、広域エリア全体の拠点性や居住魅力の向上をめざすとともに、当エリアが大阪南部の核となるよう拠点形成を図ります。
- ・人びとの回遊や滞在を生み出すため、居心地がよく歩きたくなるまちなかの実現を図ります。

一体型滞在快適性等向上事業及びまちなかウォーカブル推進事業の計画 ※一体型滞在快適性等向上事業の場合もしくはまちなかウォーカブル推進事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。

滞在快適性等向上区域の考え方
 都市再生整備計画区域は、立地適正化計画において金剛地区における都市機能の充実を図る都市機能誘導区域と位置付けた区域(予定)としています。その中で、金剛地区の交通結節拠点である南海金剛駅を起点とし、金剛銀座街商店街を經由し金剛中央公園までの約520mにわたる「ふれあい大通り」を滞在快適性等向上区域を設定をし、回遊性・滞留性の向上や交流機会の創出・賑わいづくりや住民主体の多様な取組等を創出することでウォーカブルな空間づくりに取り組みます。
 金剛銀座街商店街については、官民一体となってウォーカブルな空間を創出するため、市と独立行政法人都市再生機構(UR都市機構)が連携し、ふれあい大通りと一体的な空間として広場整備することで、地区住民主体とした多様な取組や交流等を提供する一体型滞在快適性等向上事業を実施します。

ウォーカブルな空間に改変する事の多面的な効果
 ・車から人へと土地利用を転換し、人にやさしい空間を創出することで、子育て世代にとっては車によるリスクを起こるまちなかを子どもが安心して過ごすことのできる等、安全・安心で快適に滞在できる空間を確保します。
 ・持続可能な仲間づくり、コミュニティづくり、まちづくりが可能となる地域活性化へと繋がります。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		基準年度		目標値	
金剛中央線(ふれあい大通り)の歩行者の通行量	人/日	金剛中央線(ふれあい大通り)の歩行者交通量	魅力的な空間の創出により、新たな人の回遊を促し、計画区域内への流入人口の増加が期待できる。	平日	2480人	R7	平日	2660人	R13
				休日	1480人		休日	1590人	
イベント来場者数	人/年	まちなか滞在快適性等向上区域で開催されたイベント来場者数	住民主体の「やりたい」が叶う空間が創出され、地区活性化につながる。	6500人		R7	7500人		R13
滞在快適性等向上区域の満足度	%	滞在快適性等向上区域に対する滞在環境に対する満足度	滞在快適性等向上区域で開催されるイベント等の来場者に対し、満足度をアンケートによって把握し、滞在環境(満足度水準)の向上を図る。	80.0%		R7	83.0%		R13

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>1. 金剛中央線(ふれあい大通り) ※まちなかウォーカーブル推進事業 整備方針 【回遊性・滞留性のあるウォーカーブルな空間づくり(社会実験による効果検証)】 ・第1期計画では、人流のある駅前付近(ふれあい大通り、久野喜台1号公園)で、将来のめざす姿の可視化やウォーカーブルな空間実現に取り組みました。 ・第2期計画では、「金剛駅周辺まちなかウォーカーブルビジョン」(R6年度策定)に基づき、官民連携事業による施設整備・運営を見据えながら、滞在快適性向上区域全体において、「居心地の良い目的地づくり」「歩き・滞在したくなるネットワークづくり」「仕組みづくり」について、社会実験を通じて検証・検討を行います。</p> <p>【居心地が良く歩きたくなる空間づくり】 ・社会実験の結果も踏まえながら、歩道空間・植栽帯を改変し、居心地が良く、歩きたくなる空間を創出するため、ふれあい大通りの歩道空間を高質化します。</p>	<p>【基幹事業】 ・滞在環境整備事業 滞在快適性等向上区域</p> <p>【基幹事業】 ・高質空間形成施設 金剛中央線(ふれあい大通り)</p> <p>□提案事業 事業活用調査:歩行者通行量調査、満足度調査</p>
<p>2. 金剛駅周辺地区駅前広場再整備事業 ※まちなかウォーカーブル推進事業 南海電気鉄道線、大阪狭山市及び富田林市の3者で進める、金剛駅を中心としたまちづくりの将来イメージ「集まる魅力、広がるにぎわい大阪南部の生活・交流・交通拠点」の実現のため、本市は都市計画事業により次の施設を整備します。 ・誰もが使いやすい、安全・安心で利便性のある駅前交通広場 ・持続可能な駅まち空間を創出するため、公共空間と一体的な空間を構成して都市イベントなど多様な都市活動に利用できる広場</p>	<p><基幹事業> ・道路:駅前交通広場</p>
<p>3. 金剛中央公園(関連事業 施設整備) 整備方針1【こどもの成長と子育てをささえる場】 (子育て支援機能)【児童福祉法 児童厚生施設】 ①すべてのこどもの育ちと子育てを支援するため多機能複合施設内に「(仮称)こども・子育てプラザ」を整備します。 1)こどもの育ちの支援としては、児童館機能を導入し、こどもの健全な育ちや自立を促進するとともに、誰でもいつでも行くことができる「居場所」を創出します。 2)子育て支援としては、屋内児童遊戯機能を導入し、雨天時にも利用できる「遊び」「学び」の場を提供するとともに、子育て中の親の不安や負担感に寄り添った相談支援や発達相談等も実施します。 ②屋外空間には、屋内児童遊戯機能と一体となる遊具エリアを整備し、こどもたちが体を動かして遊べるインクルーシブな空間を創出します。</p>	<p>(関連事業) 【子育て支援機能】 ①(仮称)こども・子育てプラザ 乳幼児の一時預かり機能を有し、こども・子育て世代の交流や文化等活動拠点(授乳室、相談コーナー、図書コーナー、遊戯スペースも整備)</p> <p>②屋外遊戯施設</p> <p>(関連事業) 次世代育成支援対策施設整備交付金 官民連携型賑わい拠点創出事業(Park-PFI)</p>
<p>整備方針2【みんなで豊かさを育む場】 (健康増進機能) 主にスポーツ利用を通じて健康維持につながる運動ができる多機能複合施設内に屋内運動施設を整備します。</p> <p>(交流機能) ①まちづくり活動や文化・創造活動等、住民の多様な活動ニーズに対応し、多世代の交流を実現する交流拠点を多機能複合施設内に整備します。 交流拠点には、貸館機能のほか、コワーキングやイベント、休憩など、多様な使いこなしを可能とするオープンスペースを備えるとともに、施設利用者等が休憩できるカフェ等の便益機能を整備します。 ②屋外空間には家族連れや個人が豊かな時間を過ごすことのできる芝生広場を整備するとともに、イベントや活動に利用できる多目的広場を整備します。</p>	<p>(関連事業) 【健康増進機能】 屋内運動施設</p> <p>(関連事業) 【交流機能】 ①(仮称)金剛地区地域交流センター 活性化の拠点として、文化・交流都市活動・コミュニティ活動を支える施設 ②芝生広場、多目的広場</p>
<p>整備方針3 (防災機能) 指定緊急避難場所としての機能をより一層発揮させるため、金剛中央公園敷地内に防災備蓄庫及び災害時に利用する災害対策トイレを整備する。</p>	<p>(関連事業) 災害対策トイレ、防災備蓄倉庫</p> <p>(関連事業) 災害対策トイレ上屋等の設備購入</p>

<p>4. 金剛銀座街商店街(関連事業 広場再整備)※民間事業 【独立行政法人都市再生機構(UR都市機構)】 ・令和3年10月11日に締結した「富田林市と独立行政法人都市再生機構との金剛地区の新たなまちづくりの推進に向けた包括連携協定」に基づき、本市と強固な連携のもと、整備後の空間活用を図ります。 ・まずは金剛銀座街商店街はかつての賑わいを取り戻し、地域の賑わいの拠点となるよう所有者である独立行政法人都市再生機構(UR都市機構)によるピュア金剛跡の撤去、広場再整備をおこない、ふれあい大通りと一体的で滞留性のある空間(歩道空間にも波及する、様々なアクティビティが実践され、賑わいあるパブリックな空間づくり)へ再編します。(一体型滞在快適性等向上事業の実施)</p>	<p>【協定制度等】 ・一体型滞在快適性等向上事業((仮)金剛銀座街商店街広場再整備事業)</p>
<p>その他 将来的な都市空間を目指したエリアブランディング検討のため、南海電気鉄道(株)、独立行政法人都市再生機構(UR都市機構)、大阪狭山市と緊密に連携しながら、魅力的な駅前空間の再整備に向けた協議を行います。 また、久野喜台1号公園については、南海金剛駅前の再整備と連動した一体的な整備を行います。</p>	

協定制度等の取り組み

官民連携によるエリアマネジメント方針等																							
事業	事業の目的/事業によって解決される課題	事業期間	事業主体(占用主体)	活用する制度																			
				制度別詳細1 道路占用許可特例(法第46条第10項)	制度別詳細2 河川敷地占用許可(河川敷地占用許可準則22)	制度別詳細3 都市公園占用許可特例(法第46条第12項)	制度別詳細4 都市利便増進協定(法第46条第25項)	制度別詳細5 都市再生整備歩行者経路協定(法第46条第24項)	制度別詳細6 低未利用土地利用促進協定(法第46条第26項)	制度別詳細7 [滞在快適性等向上区域] 一体型滞在快適性等向上事業(法第46条第3項第2号)	制度別詳細8 [滞在快適性等向上区域] 都市公園占用許可特例(法第46条第14項第1号)	制度別詳細9 [滞在快適性等向上区域] 公園施設設置管理許可特例(法第46条第14号第2号イ)	制度別詳細10 [滞在快適性等向上区域] 公園施設設置管理協定(法第46条第14項第2号ロ)	制度別詳細14 [滞在快適性等向上区域] 普通財産の活用(法第46条第14項第4号)									
1	一体型滞在快適性等向上事業	R6~R13	独立行政法人都市再生機構(UR都市機構)(一体型滞在快適性等向上事業実施主体)								○												

滞在快適性等向上区域における駐車場の配置方針等

取組	取組の目的/取組によって解決される課題	開始時期	活用する制度		
			制度別詳細11 [滞在快適性等向上区域] 路外駐車場配置等基準(法第46条第14項第3号イ)	制度別詳細12 [滞在快適性等向上区域] 駐車場出入口制限(法第46条第14項第3号ロ)	制度別詳細13 [滞在快適性等向上区域] 集約駐車施設(法第46条第14項第3号ハ)
1					

制度別詳細7(一体型滞在快適性等向上事業)法第46条第3項第2号

制度別詳細【一体型滞在快適性等向上事業】				
制度の活用計画				
事業番号	事業内容	事業期間	事業主体	事業の詳細
1	公共空間と一体となった広場空間の再整備(金剛団地内ピュア金剛跡)	R6~R13	独立行政法人都市再生機構(UR都市機構)	●ふれあい大通りの歩道に隣接する金剛団地内ピュア金剛を撤去し、歩道と同様の舗装に打ち換え、一体的な広場へ再整備する。 設置する滞在者等快適性等向上施設(償却資産) 舗装材:約793.28㎡ コンクリートベンチ:約32.12㎡
2				
3				
4				
関連する市町村実施事業				
事業番号	事業内容	実施期間	実施主体	事業の詳細
1	金剛駅周辺まちなかウォークブル推進事業	R8~R12	富田林市	「金剛駅周辺まちなかウォークブルビジョン」(R6年度策定)に基づき、官民連携事業による施設整備・運営を見据えながら、滞在快適性等向上区域全体において、「居心地の良い目的地づくり」「歩き・滞在しやすくなるネットワークづくり」「仕組みづくり」について、社会実験を通じて検証・検討を行うとともに、①ヒトが居心地が良く歩きやすくなるような歩道空間や②植栽帯とポケットパークを改変し、人々が居心地が良く、くつろいだりできる空間を創出するため、ふれあい大通りの歩道空間を高質化します。また、本市の西の玄関口である金剛駅東口駅前広場について、2000年代前半の整備以降の社会潮流の変化への対応や近年のニーズに対応するためには、これら交通結節点の利便性の維持・向上に加え、人がゆっくり時間を過ごせるような空間の確保、歩きやすくなるまちなかの実現をめざした駅まちづくりを行います。
2	(関連事業) 金剛中央公園・多機能複合施設等整備事業	R9~R11	富田林市	金剛中央公園において、金剛地区における都市空間の再編のリーディング・プロジェクトとして、富田林版「こどもまんなか社会」の実現やニュータウン問題の課題解決のため拠点施設整備を行います
3	(官民連携型賑わい拠点創出事業(Park-PFI)) 金剛中央公園・多機能複合施設等整備事業	R11	民間事業者	金剛中央公園・多機能複合施設等整備事業の公園部において、民間事業者によるBBQ設備等によるアウトドア運営・物販施設等の公募対象公園施設を設置し、当該施設から生じる収益を活用してその周辺の特定公園施設の整備等を一体的に行うPark-PFI事業を実施します
4	(次世代育成支援対策施設整備交付金) 金剛中央公園・多機能複合施設等整備事業	R11	富田林市	金剛中央公園・多機能複合施設等整備事業の子育て支援機能(児童厚生施設 児童館)において、こどもの居場所としての機能強化を図るため施設整備を行います

こんごうちく 金剛地区(2期)まちなかウォークアブル推進事業 (大阪府富田林市)

◆ **事業概要:** ・「金剛駅周辺まちなかウォークアブルビジョン」に基づき、車中心から“人中心”の空間への転換をめざし、お気に入りの場所とそこで過ごす楽しい時間、新たな出会いと交流など、金剛地区に「目的地」が増え、多様なアクティビティ(行動・活動)がまちなかにあふれることで、暮らしの豊かさと楽しさを+(プラス)できるまちをめざす。
 ・駅前交通広場は、社会潮流の変化への対応や近年のニーズに対応するため、これら交通結節点の利便性の維持・向上に加え、人がゆっくり時間を過ごせるような空間の確保、歩きたくなるまちなかの実現をめざした駅まちづくりを進めます。

◆ **事業主体:** 市 ◆ **面積:** 19.4ha ◆ **滞在快適性等向上区域** 5.9ha ◆ **交付期間:** 令和8年度～令和12年度
 ◆ **全体事業費:** 747.6百万円 ◆ **交付対象事業費:** 717.9百万円(国費:359.0百万円) ◆ **国費率:** 50.0%(まちなかウォークアブル計画関連)



人口: 10.5万人 (令和7年4月時点)



富田林市
 ■ 基幹事業 (高質空間形成施設)
 市道金剛中央線 (ふれあい大通り)
 歩道改修工

金剛中央公園
富田林市
 金剛中央公園・多機能複合施設等整備事業

- 関連事業
 - ・ 金剛中央公園
屋外遊戯施設、屋内運動施設、芝生広場、多目的広場
 - ・ 多機能複合施設整備
(仮称) こども・子育てプラザ
(仮称) 金剛地区地域交流センター
 - ・ その他
災害対策トイレ、防災備蓄倉庫

- 関連事業 (官民連携型賑わい拠点創出事業)
- 関連事業 (次世代育成支援対策施設整備交付金)

富田林市
 一体型滞在快適性等向上事業
 (仮) 金剛銀座街商店街広場再整備事業
 ■ 広場再整備
 事業主体 独立行政法人都市再生機構
 (UR都市機構)

富田林市
 ■ 基幹事業 (滞在環境整備事業)
 滞在快適性等向上区域
 社会実験の実施

(仮称) 金剛駅周辺地区再整備事業
 南海電気鉄道線、大阪狭山市 (予定)
 ○ 関連事業
 金剛駅周辺地区第一種市街地再開発事業

富田林市
 ■ 基幹事業
 (道路)
 都市計画道路金剛駅前交通広場 (東) 整備事業

Legend:

- (Red line): 都市再生整備計画の区域
- (Yellow line): 都市機能誘導区域(富田林市)
- (Green line): 都市機能誘導区域(大阪狭山市)
- (Light Green line): 居住誘導区域(地図内全域)
- (Orange line): 滞在快適性等向上区域
- (Blue line): 一体型滞在快適性等向上事業
- (Blue square): 基幹事業
- (Light Green square): 提案事業
- (Dashed circle): 関連事業

(参考)

